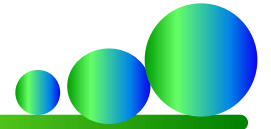
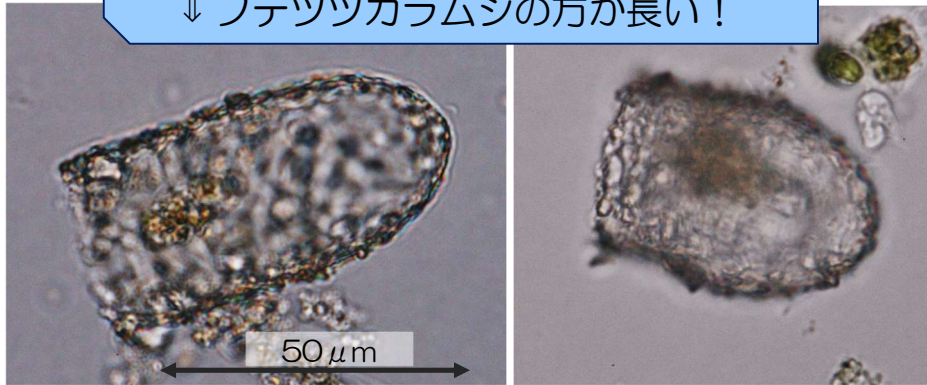


細長い殻をもつ フデツツカラムシ



↓ フデツツカラムシの方が長い！



フデツツカラムシ（殻のみ）
（試料採取 西浦・土浦港 2022年11月8日）

スナカラムシ（殻のみ）
（試料採取 北浦・釜谷沖 2022年12月9日）

※写真はすべて同じ倍率です。

動画をご覧ください。

動画では、繊毛の動いている様子を見ることができます。



フデツツカラムシ
（試料採取 西浦・土浦港 2023年2月14日）

フデツツカラムシ（*Tintinnidium* フデツツカラムシ属）は、スナカラムシと同じ繊毛虫のなかまの動物プランクトンです。スナカラムシよりも細長い殻を持っています。

殻の中に細胞が収まっていて、光学顕微鏡での観察では、開口部（壺の口の部分）から、繊毛で囲まれた口部を出しているのが見られることもあります。（動画をご覧ください。）

フデツツカラムシも、スナカラムシと同様に、霞ヶ浦でもよくみられる動物プランクトンの1つで、2022年3月には、西浦・湖心及び北浦・釜谷沖ともに、優占種になっていました。



フデツツカラムシの殻に入ってしまったアウラコセイラです。大きさの違いがわかります。

※アウラコセイラは、珪藻類の植物プランクトンです。